リハ栄養管理とIn Body測定

なになに？
ハイブリッド・リハビリテーション!!
Hybrid Rehabilitation

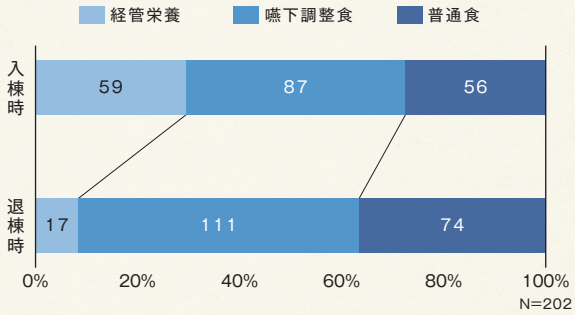
企画構成：冨岡勇貴／理学療法科

今回は栄養サポートチーム、嚥下チームによるリハ栄養管理と In Body測定について紹介します。

【 栄養サポートチームと嚥下チームによる積極的な栄養管理と経口摂取の推進 】

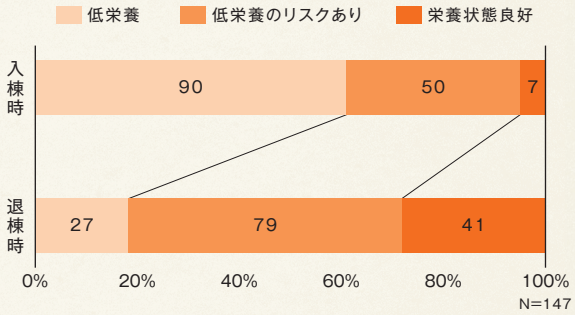
患者様が十分な栄養状態で、口からご飯が食べれるように栄養サポートチームと嚥下チームが連携することで、リハビリが積極的に行えています。当院の回復期リハ病棟に入院した脳卒中患者様の入棟時と退棟時の栄養状態と摂食状況レベルについて報告します。

回復期リハ病棟入・退棟時の摂食状況



入院時は口から食事をとる事が難しい方が多い傾向にありますが、当院の嚥下チームによる取り組みにより、退院時には多くの方が口から食事を摂取できるように改善しています。

回復期リハ病棟入・退棟時の栄養状態



入棟時は低栄養の方が多い傾向にありますが、栄養サポートチームの取り組みにより、退棟時には栄養状態が改善しています。

【 回復期リハ病棟へ入棟する患者様に対しては入院・退院時にInBody測定を行なっています。】

InBody測定は、部位別の筋肉量や、体を構成する体水分、たんぱく質、ミネラル、体脂肪を分析し、栄養状態に問題がないか、体がむくんでいないかなど、人体成分を評価する検査です。

ベッドの上に寝た状態で手足に器具を装着するだけで行える簡便な検査です。

【 リハビリと栄養サポートチーム、嚥下チーム協同のハイブリットリハにより機能・栄養・口腔機能改善!! 】

□ 症例報告《Case Report》　90歳男性　診断名：大腿骨頚部骨折術（入院期間 71日）

入院時

BMI：16.2
食事：経管栄養　アルブミン値：2.6
筋肉量：右脚4.9kg（標準6.5～8.0）
　　左脚4.7kg（標準6.5～8.0）
基礎代謝量：1114kcal
起立回数0回、入院時は歩行不能

退院時

BMI：17.4 ↑
食事：嚥下調整食（軟菜食）　アルブミン値：3.4 ↑
筋肉量：右脚7.2kg ↑（標準6.5～8.0 ）
　　左脚7.0kg ↑（標準6.5～8.0 ）
基礎代謝量：1280kcal ↑
起立回数140回、歩行可能となり退院